

令和3年度地方創生関連交付金事業の実施状況

①エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進

			福岡市交付対象事業経費		
目的	国内外の優秀なエンジニアが集まる環境を創出し、エンジニアによって生み出される新サービス等を通じて経済成長や市民生活の向上を図る。		3年度	81,801 千円	
			4年度	— 千円	
実施主体	福岡市	担当	経済観光文化局創業・立地推進部 新産業振興課	事業期間	R1n-R3n
実施内容	【地方創生推進交付金事業（横展開タイプ）】				
	<p>1 エンジニアが集まる場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> エンジニアの交流拠点「エンジニアカフェ」の運営。 イベントとしても利用できるコワーキングスペースのほか、作業に没頭できる集中スペースやデジタルものづくりの体験ができるスペースを備える。 オンライン・エンジニアカフェをR2.5.20に開設。 コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、エンジニアカフェが閉館となった中でも、オンラインで相談や、コミュニケーションが行える場を提供した。 コミュニティマネージャーが中心となり、エンジニアやこれからエンジニアを目指す方、エンジニアに関わる方からの相談に対応。 エンジニアやエンジニアコミュニティが主催する勉強会やイベントの開催支援。 エンジニアカフェ主催による、言語系からものづくり系の勉強会や交流会などを開催。 <p>2 エンジニア向けイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡のエンジニアを取り巻く環境の充実や、エンジニアコミュニティ文化の発展に貢献する取組み等を行う者を表彰する「エンジニアフレンドリーシティ福岡アワード」を実施した。 福岡のエンジニアと九州内外のエンジニアコミュニティとの交流、エンジニアに対する企業の先進的な取組みを紹介し、エンジニアが働きやすい環境を福岡に広げていくこと、また最新の技術トピックに触れることでエンジニアの技術力向上を目的としたイベント「エンジニアフレンドリーシティ福岡フェスティバル」をオンラインにて開催した。 各エンジニアコミュニティの活動やイベントの紹介、福岡で活躍するエンジニアのインタビューやエンジニアやエンジニアコミュニティ活動を支える企業や団体等の紹介等を専用WebサイトやSNS等による情報発信を実施した。 地場企業からメンター派遣などの協力を得て、地元の学生を対象に人材育成プログラムを実施した。 				
	指標内容	R3n目標	R3n実績	達成率	
KPI	福岡市におけるソフトウェア業及びインターネット付随サービス業の従業者数（人）	28,377	—	—	
KPI	福岡地域の情報処理技術者の有効求人倍率（倍）	2.40	1.45	165.5%	
KPI	エンジニアからの相談対応件数（件）	196	415	211.7%	
KPI	赤煉瓦文化館の入館者数（人）	45,962	35,037	76.2%	
補足	「福岡市におけるソフトウェア業及びインターネット不随サービス業の従業者数」は、経済センサスの結果公表待ち。				

②Society5.0を支えるAIエンジニア支援

			福岡市交付対象事業経費		
目的	IT企業等のエンジニア等を対象にAI等の研修及び実践訓練を実施することで、Society5.0実現のための重要な役割を担うAIエンジニアの育成を支援し、企業等におけるデジタル変革や働き方改革をより一層推進する。		3年度	5,673千円	
			4年度	5,673千円	
実施主体	福岡市	担当	経済観光文化局創業・立地推進部 新産業振興課	事業期間	R2n-R4n
実施内容	【地方創生推進交付金事業（横展開タイプ）】				
	1 キックオフ・イベント 最新のAI・DX技術や応用、人材育成等についての講演をオンラインにて配信した。 日 程：令和3年7月29日（火） 参加者数：111人 講演内容：基調講演「製造業におけるDXの実績」他講演4件				
	2 AI人材育成講座（ビジネス編） AI社会の到来によりビジネスがどう変化するのか、実際のAIプロジェクトを学ぶ講座を実施した。 第1期：令和3年8月5日（木）、19日（木）⇒16人が受講 第2期：令和3年10月5日（火）、19日（火）⇒8人が受講 Eラーニング：期間中に5ヶ月間 ⇒29人が受講				
	3 AI人材育成講座（エンジニア編）基礎編 これからAIを使ったサービスの開発・提供を始めるため、AIの原理、実装、最適化までのソフトウェアの開発に必要な工程を体系的に習得することを目標とする講座を実施した。 第1期：令和3年9月2日（火）、9日（火）、16日（火）、22日（火）、30日（火）⇒21人が受講 第2期：令和3年11月2日（火）、9日（火）、16日（火）、24日（火）、30日（火）⇒21人が受講 Eラーニング：期間中に5ヶ月間 ⇒19人が受講				
	4 AI人材育成講座（エンジニア編）応用編 AIのサービス構築に必要な工程を習得することを目標とし、課題解決のための分析、データ準備、AIを用いたツールの開発を行い、AIサービス構築の実務に必要なスキルを習得する講座を実施した。 令和3年12月7日（火）、14日（火）、21日（火）、令和4年1月11日（火）、18日（火）⇒14人が受講				
	5 イブニングセミナー 本研修の実施内容を周知することを目的とし、オンライン形式によるセミナーを開催した。 日 程：令和3年7月14日（水）、9月17日（水）、9月24日（金） 参加者数：計23人 内 容：「AI実践セミナー」2回、「AIビジネスセミナー」1回				
	6 研修受講者間のコミュニティ形成 本研修の受講者・修了者向けの情報交換の場として交流会を開催した。 日 程：令和4年1月12日（水） 参加者数：12人 内 容：「AI研修後のステップアップ」「AI関連講座紹介」				
	指標内容	R3n目標	R3n実績	達成率	
KPI	本事業への参加後、AI関連業務に従事した人の割合（％）	20	8	40.0%	
KPI	研修修了者数（人）	220	215	97.7%	
KPI	研修開催回数（回）	40	35	87.5%	
KPI	実践訓練における解決課題数（件）	6	1	16.7%	
補足	「本事業への参加後、AI関連業務に従事した人の割合」のR3n実績はR4n中に調査予定。				

③外国人材の受入・共生事業

			福岡市交付対象事業経費		
目的	外国人住民との相互理解が深まり、外国人にも暮らしやすく、活動しやすいまち、また、海外の優秀な学生が都市の魅力を感じて留学先として選び、卒業後も福岡市を拠点にグローバルに活躍できるまちの実現を目指す。		3年度	12,875 千円	
			4年度	1,800 千円	
実施主体	福岡市	担当	総務企画局国際部国際政策課	事業期間	R1n-R4n
実施内容	<p>【地方創生推進交付金事業（横展開タイプ）】</p> <p>1 共生の地域づくり事業 互いの文化や習慣を認めつつ、共に地域に暮らす住民として協力し合える関係をつくることを目的に、区役所や自治協議会等地域の団体と福岡よかトピア国際交流財団が連携し、小学校区単位の外国人住民との交流や、共生に関する啓発を支援した。 また、本取組みを推進するため、同財団に「共生コーディネーター」を増員した。 そのほか、日本の文化・習慣（生活ルール・マナー等）について、パンフレットや動画を作成し、交流の場で活用するなど周知を図るとともに、福岡よかトピア国際交流財団や市の担当部門と連携し、日本語学校等で出前講座を実施した。</p> <p>2 高度外国人材獲得推進事業 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度時点で海外現地での留学フェアの実施の見込みが立たなかったため、令和3年度の地方創生推進交付金を活用した事業は令和4年度に延期した。 姉妹都市であるイポー市やヤンゴン市を含むASEAN地域や中国・広州市の学生などに向け、福岡市への留学のきっかけとなることを目的として、福岡市の強みや魅力、地元企業の高度外国人材のニーズ等について、福岡留学をPRするオンラインセミナーを関係団体と連携して開催した。</p>				
	指標内容	R3n目標	R3n実績	達成率	
KPI	地域の国際交流事業が実現した件数（件）	40	25	62.5%	
KPI	地域の行事への外国人参加率（%）	40	16.5	41.3%	
KPI	福岡市内の大学・大学院・短期大学に在籍する留学生数（人）	令和2年度時点で令和3年度事業の令和4年度への延期が決定したためKPI未設定			
補足					

④国際金融都市としての地位向上による地域活力促進事業

			福岡市交付対象事業経費		
目的	外資系金融機関の誘致促進、地域経済の活性化や新しいビジネスモデルの創出、グローバルビジネスの雇用の拡大を進め、福岡の特性と親和性の高い国際金融機能の誘致に取り組む。		3年度	15,771 千円	
			4年度	29,013 千円	
実施主体	福岡市	担当	経済観光文化局創業・立地推進部 企業誘致課	事業期間	R3n-R5n
実施内容	【地方創生推進交付金事業（横展開タイプ）】				
	1 企業の拠点設立相談、成長支援等				
	<ul style="list-style-type: none"> ○福岡市への進出を検討している外資系金融機関等を対象に、拠点設立のサポートをワンストップで行う「Global Finance Centre」の設立、運営 <ul style="list-style-type: none"> ・拠点設立にあたってのビザ取得や補助金等に関する案内、専門家（弁護士、税理士、行政書士等）紹介 ・住宅探しや外国語対応可能な病院の紹介など、柔軟に対応 ○外部人材によるIPO成長支援プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・経営課題を抱える企業に対し、様々な専門知識や経験を持つプロ人材をマッチングし、IPOができるような福岡の経済を牽引する企業へと成長するための支援を実施 ・Fintech企業1社を採択（株式会社Gigi） 				
	2 国際金融機能の誘致に向けたフォーラム開催 <ul style="list-style-type: none"> ・国際金融機能の誘致に向けた機運醸成を図るため、福岡市国際金融アンバサダーやTEAM FUKUOKA関係者が「国際金融機能の誘致に取り組む理由・意義」を発信するフォーラムを開催 ・併せて、地場企業等のアウトバウンド意識向上や海外企業の誘致を図るため、海外の資産運用会社から投資を受け事業を行っている企業や福岡進出済または進出予定の海外企業のプレゼン、ネットワーキングを実施 ・当日は346名（うち会場76名、オンライン270名）が参加し、アンケートでは「大変参考になるイベントだった」「情熱や気概を大いに感じた」との感想があった 				
3 海外向けプロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年1月10～11日に香港で開催されたアジア金融フォーラムにTEAM FUKUOKAとしてオンラインブースを出展し、世界の金融関係者に福岡をPR ⇒計968名がオンラインブースを訪問 ・併せて、フィンテック企業を中心としたスタートアップの福岡進出に繋げるため、Global Finance CentreがオンラインイベントAFF Deal Flow Matchmaking Sessionに参加 ⇒20件連絡を取り、3社とミーティングを実施 					
	指標内容	R3n目標	R3n実績	達成率	
KPI	経済波及効果（百万円）	832	3,159	379.7%	
KPI	雇用者数（人）	44	310	704.5%	
KPI	プロモーション参加企業数（社）	5	3	60.0%	
KPI	ワンストップサポート窓口相談件数（件）	150	172	114.7%	
補足					

⑤福岡市生涯活躍のまち推進事業

			福岡市交付対象事業経費		
目的	認知症や要介護のリスクが高まる後期高齢者となっても意欲や能力に応じて役割をもって「生涯活躍できる社会（まち）」の構築を推進するため、各種取り組みを実施。		3年度	91,128	千円
			4年度	122,391	千円
実施主体	福岡市	担当	福祉局総務企画部政策推進課		
			事業期間	R3n-R5n	
実施内容	【地方創生推進交付金事業（横展開タイプ）】				
	1	「福岡100」の推進 人生100年時代の到来を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく暮らせる、持続可能な社会をめざすプロジェクト「福岡100」を、産学官民オール福岡で推進。			
	2	認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」の普及 認知症の家族を介護されている方や専門職、市民などを対象としたユマニチュード講座を実施。			
	3	アラカンフェスタ実行委員会 アラカン世代（60歳前後の世代）の方々が自らイベントや教室を企画・実施する「R60倶楽部」の活動支援等により、アクティブエイジングを推進。			
	4	シニア活躍応援プロジェクト 働きたい高齢者と企業の多様な雇用をマッチングする仕組みや環境をつくり、高齢者の就業を応援。			
	5	アプリを活用した健康づくり促進事業 市民一人ひとりの健康づくりや社会参加活動の参加・実践を後押し。			
		指標内容	R3n目標	R3n実績	達成率
KPI	地域や社会で役割をもち、新たに就業やボランティア等の活動を開始し活躍する市民数（人）		500	1,811	362.2%
KPI	新たな生活様式に対応した健康づくり事業等へ参加する市民数（人）		2,000	3,194	159.7%
KPI	新たな事業創出数（事業）		7	5	71.4%
補足					